



〈本郷キャンパス〉  
学校法人文京学園  
文京学院大学経営学部・外国語学部・  
保健医療技術学部／大学院／文京学院  
大学生涯学習センター  
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1  
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816  
文京学院大学文京幼稚園  
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1  
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉  
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部  
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196  
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806  
〈駒込キャンパス〉  
文京学院大学女子高等学校／文京学院  
大学女子中学校  
〒113-8667 文京区本駒込 6-18-3  
☎03-3946-5301

## 院生、学生、生徒が外部活動で入賞!

保健医療科学研究科の院生、経営学部の学生、中高の生徒が、外部の各種大会で大活躍し、入賞を果たしました。

### 大学院 日本臨床検査学会学術大会で「優秀発表賞」受賞

保健医療科学研究科の古谷信彦研究室に所属する鈴木周樹さん(微生物研究)が、第11回日本臨床検査学会学術大会で「優秀発表賞」を受賞しました。

同大会は、臨床検査の継続的発展を通じて国民の保健福祉に貢献することを目的に、一般社団法人日本臨床検査学教育学会学術大会(第11回)として開催された。鈴木さんの発表タイトルは「in vitroでのマクロライド系薬剤長期曝露による緑膿菌への経時的影響」。重症化する緑膿菌呼吸器感染症の治療法「マクロライド系薬剤長期曝露による緑膿菌への経時的影響」の学会発表。当日は緊張や不安と戦いながらの発表ではありましたが、優秀発表賞の表彰は大変大きな自信となりました。賞に恥じない研究者を目指し、今後さらに研究、学問に精進していきたいと考えております」と話しました。



賞状を胸に笑顔の鈴木さん

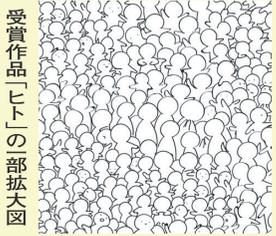
床検査学教育協議会が主催。今年は「臨床検査技師の国際化」をテーマに、8月31日〜9月2日まで兵庫県神戸市で行われました。鈴木さんの発表タイトルは「in vitroでのマクロライド系薬剤長期曝露による緑膿菌への経時的影響」。重症化する緑膿菌呼吸器感染症の治療法「マクロライド系薬剤長期曝露による緑膿菌への経時的影響」の学会発表。当日は緊張や不安と戦いながらの発表ではありましたが、優秀発表賞の表彰は大変大きな自信となりました。賞に恥じない研究者を目指し、今後さらに研究、学問に精進していきたいと考えております」と話しました。

### 大学 経営学部「JAGDA学生グランプリ」で「優秀賞」

経営学部倉嶋正彦ゼミに所属する中山愛菜さん(2年)が、「JAGDA学生グランプリ2016」で「優秀賞」を受賞しました。

同グランプリは、世界のグラフィックデザインの新しい優れた才能の発見と輩出を目的に実施しているポスターコンペティション。会員数約3千名のアジア最大級のデザイン団体である公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA/浅葉克己会長)が主催しています。

今年「SNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービス」をテーマに、810作品(連作含む累計983点)の応募がありました。中山さんは「SNSの向こうにいる顔が見えない沢山の人の」を、一人ずつ表情や顔の向きの配置を考慮して表現。審査員からは「圧倒的な手数や、所々に盛り込まれたストーリーなど、見応えある力作」と高く評価されました。青木克憲審査員から表彰状と盾を授与された中山さんは「美大や美術専門学校の学生たちの中で、経営学部の私が受賞できたのは驚きでしたが、とてもうれしかったです」と喜びました。



受賞を喜ぶ中山さん



演技を終えて笑顔の生徒たち

### 高校 「第32回 高円宮杯日本武道館書道大展開会」に5名入賞

「第32回 高円宮杯日本武道館書道大展開会」が8月28日、日本武道館で行われ、書道部の次の生徒が入賞しました(敬称略)。

★日本武道館奨励賞Ⅱ高見澤咲季(高一梅)★日本武道館賞Ⅱ大谷友香(高三)★新関美結(高一梅)★(千代田区飯田橋)での授賞式で、高円宮妃久子妃殿下ご列席のもと、「日本武道館奨励賞」を受賞した高見澤さんが賞状を授与された。

品がある同展開会で、入賞はわずか170点という厳しい中での入賞は快挙。同書の最高傑作といわれる「蘭亭序」を書いた高見澤さんは「母に3歳から書道を習い、小学校から教室に通い始めました。この賞は2回目なので、来年はもっと上の賞を目指して頑張ります。」「日本武道館賞」を受賞した新関さんは「中1で本校の書道部に入り、書道がとても好きになりました。好きなことを一生懸命やった結果、このような賞をいただけました。本当にうれしいです」と話しました。



「日本武道館奨励賞」受賞の高見澤さん



「日本武道館賞」受賞の新関さん

### 中高 カラーガード部「JAPAN CUP 2016」で第2位

「JAPAN CUP 2016」が9月4日、東京体育館(渋谷区千駄ヶ谷)で開催され、本校が「カラーガード」部門で3年連続の「第2位」を獲得しました。

同大会は、小学生から社会人までを対象に部門別に行われるビッグイベントで、今回で20回目。本校からは、高2・中2の24名が参加しました。

磯野美久部長(高2楓)は「これまでの良い成績を維持しつつ、さらには上の賞を目指してプレッシャーがありました。1位を取れなかったのは残念ですが、昨年よりも1位との点差を詰められたのでうれしかったです。」と笑顔で話しました。

今年「SNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービス」をテーマに、810作品(連作含む累計983点)の応募がありました。中山さんは「SNSの向こうにいる顔が見えない沢山の人の」を、一人ずつ表情や顔の向きの配置を考慮して表現。審査員からは「圧倒的な手数や、所々に盛り込まれたストーリーなど、見応えある力作」と高く評価されました。青木克憲審査員から表彰状と盾を授与された中山さんは「美大や美術専門学校の学生たちの中で、経営学部の私が受賞できたのは驚きでしたが、とてもうれしかったです」と喜びました。



演技を終えて笑顔の生徒たち

駒込キャンパス  
事務センター長



市原郁雄

駒込キャンパスに異動になって5カ月、まだまだ十分に理解をしているわけではありませんが、ここでは現在進行している特筆すべき中高の事項をお伝えしたいと思います。

中高においては、政治・経済・社会のグローバル化、情報社会の深化を踏まえて、さまざまな取り組みを行っています。

まず、グローバル教育として、海外語学研修の活動が際立っています。今夏も、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアへ、期末試験後から夏休みの間を利用して、語学研修に行きました。このほか、アメリカやニュージーランドの名門校への派遣留学も行なっています。すし、タイやマレーシアとの文化交流もあり、海外との異文化交流により、「国際化」が進んでいます。

次にICT(Information and Communication Technology)教育推進の「環境」で、BAL(Bunkyo Active Learning)スタジオ

### Green Spirits 駒込キャンパスの多彩な取り組み

と呼ぶ教室を従来に加え新たに1教室増設し、72台のタブレット端末を導入するなど、情報活用能力を育成するとともに、各教科の理解を深め、学習目標の充実を図っています。さらに、自宅での予習・復習を手助けするために、パソコンを使った自習用教材も、来年度から本格導入します(ICT教育の「環」)。

また、現在、文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクール(SSHS)の指定や、スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイトの指定を受けて、先進的・創造的な理数教育や国際的素養を身につけたグローバルリーダー育成のため、グローバル教育を行なっており、さらに、ゼミ形式の課外授業「国際塾」なども実施しています。

加えて、ユネスコ憲章の理念を実現する「ユネスコスクール」という「平和や国際的な連携を実現する学校」としての加盟申請も、バリのユネスコ本部宛てに進めています。

なお、11月14日には、駐日欧州連合本部主催の「EUがあなたの学校にやってくる」を校内で実施します。生徒たちに大きな刺激となるでしょう。



高校

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)便り

夏季勉強会で特別講義を受講

都内女子校で唯一、文部科学省よりSSHの指定を受けている本校では、外部講師による特別講義が頻繁に行われ、生徒は専門性の高い知識を吸収しています。

高1・2年の理数キャリアコースの生徒が、8月17日から20日までの午前中、夏季勉強会に参加。数学と英語の授業を受け、8月21日の模擬試験対策も兼ねて、問題演習に取り組みました。



御園准教授と確率課題に取り組む



模擬人工衛星で実験

高1は、午後にも特別授業を受けました。18・19日の講師は、島根大学教育学部准教授の御園真史先生。

初日のテーマは「モンテ・イ・ホール問題に挑戦」。確率分野の有名な問題で、最初に自分の感覚で結果を

予想。その後、みんなで実験を行い、全員の結果を合わせて実験結果について検証しました。予想とは逆の結果が出ましたが、なぜそうなるのかを式を立てながら話し合いました。自分たちの考えをみんなの前で発表しながら、それぞれの説明についてみんなで考えました。

2日目は、オーロラの高さを測る方法として、「三角測量について学びました。三角比」については、まだ授業で習っていない内容ですが、みんな一生懸命計算に取り組みました。

2日目は「未踏の課題に挑む」というテーマで、JAXAで宇宙開発に関わる東海大学情報教育センターの白澤秀剛先生から未知の課題に挑戦することの魅力や、課題解決に必要なことについての講義がありました。同大学院の院生が作った模擬人工衛星を使って、姿勢制御のプログラミングにも挑戦。生徒一同、試行錯誤しながら、熱心に実験に取り組みました。

tomochan No.28 画: CIP部 パンゼンジ

芸術の秋

スポーツの秋

食欲の秋

食べすぎ注意

大学

入選作品決定「文京コンテツアワード2016」

「文京コンテツアワード2016」が8月6日、本郷キャンパスで行われ、本郷キャンパスで行われ、石川恵理(人間学部3年)が今回の入選作品は、来年3月、「AnimeJapan 2017」の本場ブースで上映・展示されます。また、入選作品の中で特に商品化に適した作品は、マーケティングゼミ生がフィールドワーク授業の中で商品化し、企業に提案運営を行います。

入選

第一部では、CTR6教室で全応募作品を上映後、審査を行い、次の作品が入選しました。

- 「微睡むペンギン」高橋暉(経営学部2年)
- 「ケロの恋物語」小川竜汰(同)
- 「Memory of childhood」大内利沙(同)
- 「宇宙人の災難」小松萌果(同)
- 「カモの兄弟の日常」森一朗・滝真菜・中村美佳・野崎涼大(同3年)
- 「それ行け!おじいさん」加藤葵・仲田初美・石川健太・和田浩弥(同)
- 「子供部屋のバトルロワイヤル」麻生小百合・田畑潤也・山本翔平(同)

準入選

「Feel the moment」



小松さんの「宇宙人の災難」 大内さんの「Memory of childhood」 小川さんの「ケロの恋物語」 高橋さんの「微睡むペンギン」

大学

障がい者スポーツ体験会を開催

経営学部でマーケティングを学ぶ新田都志子ゼミの学生たちは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、障がい者スポーツ体験会プログラム「ポッチャ」の研究を進めていいます。また多くの偏見・差別

金子教授「推薦名流舞踊大会」で表彰

人間学部の金子智栄子教授が、9月22日、国立劇場(大劇場)で行われた「第52回 推薦名流舞踊大会」に出演しました。



石川さんの「Feel the moment」



麻生・田畑・山本さんの「子供部屋のバトルロワイヤル」



加藤・仲田・石川・和田さんの「それ行け!おじいさん」



森・滝・中村・野崎さんの「カモの兄弟の日常」



「お夏」を舞う金子教授

大学 学生が「GAKUTEN」に出展

経営学部・倉嶋正彦ゼミでイメージイラストレーションを学ぶ学生たちが8月27・28日、東京ビッグサイト西ホール全館と屋上展示場で開催された大規模なイベント「真夏のDESIGN FESTA + GAKUTEN 2016」に出展しました。今年も、出展数2100ブース、2日間約2万1千人の来場者数がありました。



個性豊かな作品を前に

新書コーナー

★『エキスパート理学療法1 バイオメカニクスと動作分析』責任編者/著者=福井勉保健医療技術学部長・教授ほか(著者として同学部・上田泰久助教が執筆)/発行:ヒューマン・プレス(2016年9月30日)4,500円+税

本書では、バイオメカニクスに関する研究結果を、臨床でどのように応用し、効果的に利用するか、その具体的な理論と方法を示す。そして、逆に臨床での疑問を解決するために、どのようなバイオメカニクスの手法を用いることが適切なのか、その可能性を示すことにより、研究と臨床の橋渡しをすることを目的とした書である。

「ポッチャ」の説明を受ける学生たち

当日は、東京ポッチャ協会所属の選手が参加し、競技の説明や「ポッチャ」を始めた経緯など、様々な話をしました。学生たちは、貴重な話を熱心に聴き取りました。

「ポッチャ」はカーリング競技に似ており、投げたり転がしたりするボールの距離の近さを競う競技です。今回の「ポッチャ」体験では、フラフープ競争を行い、球をフラフープの中に入れる難しさを体験。試合ではジャックボール(初球)に球を近づけるための戦略をチームで練り、楽しく「ポッチャ」を体験しました。

ゼミ生たちは、「この体験を通して、障害者を理解する機会になってほしい」と望んでいます。